



神納中だより

神納中学校第96号
平成23年4月6日発行

春暖の候、保護者並びに地域の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。平成23年度が始まりました。先月、3月11日に発生した東日本大地震が人々にもたらした傷の深さは計り知れなく、現在でも実に多くの方が苦しみ、悲しみ、また不自由な避難所生活を余儀なくされています。また、当学区内にも避難所が設営され、そこには3月29日現在で51名の方が避難生活をしておられます。



新年度を始めるに当たり、この度の大地震で被災された方々が一刻も早く通常通りの生活を取り戻すことができますよう、また、ご家族や友人を失い、心に深い傷を負われた方々の心の傷が一日でも早く癒え、再び幸せに満ちた生活を過ごすことができますよう、心からお祈り申し上げます。

《東北・関東大震災義捐金の募金活動H23.3.28》

全校朝会のお話 「東日本大震災」 (3月14日)

3月11日、14時46分頃、三陸沖を震源地とするマグニチュード9.0という未曾有の大震災が、東北地方で発生しました。多くの人々の命が失われ、また、一万を超える人々の行方が分かっていません。各地で起こった自然災害については、徳川幕府の頃から記録に残されているようですが、過去400年間の記録を振り返ってみても他に類例がないほど凄まじい大災害であると報じられています。

地震や津波のためにお父さんやお母さん、息子や娘とはぐれてしまった方々が、涙を流しながら各避難所をまわり、必死になって家族を捜しておられる姿をテレビで拝見したときには、私の胸も急に痛くなり、両目には悲しみの涙が込み上げてきました。防災技術も意識も進んでいるはずの地震国日本がなぜこのような大災害による悲劇を経験しなければならないのか、なぜこれほどまでに。この度の大災害に対してはまさに筆舌に尽くしがたく、どのような言葉も軽々しく、空虚な響きをもってしまいます。

被災された方々のために私たちができる支援を考え、実践していきます。

被災し、傷ついた方々が一人でも多く救助されますように、家族や友人と離ればなれになった方々が一刻も早く無事に再会できますように、そして地震や津波で命を失われた方々に対する心からのご冥福を祈って、これから私たちは黙祷を捧げます。全校生徒はその場に起立してください。準備はよいでしょうか。

- 一人でも多くの方々の命が救われますように
- 一刻も早く無事にご家族や友人と再会できますように
- 亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りして

黙 祷

離 任 式 (3月25日)

長谷川恵子先生

長谷川先生は、6年間の長きにわたって神納中学校にお勤めいただきました。その間、常に学級担任として、吹奏楽部顧問として、神納中学校を支え、一人一人の生徒の健やかな成長を支援するために努力を惜しまれませんでした。合唱コンクールへ向けて連日の合唱指導、真夏の猛暑の中での吹奏楽部の練習など、土日を返上して、生徒のために粘り強く熱心にご指導してくださいました。特に、様々な事情があって学校に通うことができなくなった生徒に対する、長谷川先生の心温まる対応やきめの細かい配慮には、私たちすべての教師が学ぶべき大切な教師としての心構えを感じ取ることができました。長い間、ありがとうございました。この度の異動で、長谷川先生は関川村立関川中学校に転出されます。



五十嵐雅人先生

五十嵐先生は、神納中学校に5年間勤務していただきました。これまで長岡市や三条市の中学校で教えてこられた五十嵐先生が、地元に戻って初めて勤務する学校がこの神納中学校でした。五十嵐先生ご自身、もっともっと神納中学校で生徒たちと共に学校生活を過ごしたいという気持ちを強くもっておられました。新潟県の人事異動のきまりにしたがって、このたび聖籠町立聖籠中学校へ転出されることになりました。学級担任として、生徒会顧問として、また、バレーボール、バスケットボール部の顧問や副顧問として、一人一人の生徒の成長に大きく関わってこられました。聖籠中学校でもご自分の力を存分に発揮して、地域の教育に貢献していただきたいと思っております。ありがとうございました。

近藤優果先生

近藤先生は新潟大学の大学院を卒業され、すぐに神納中学校に勤務されました。以来、3年間、特別支援学級の学級担任として、1年生の学級担任として、また、部活動ではバレーボール部の副顧問、文化部の顧問として、神納中学校を支えてくださいました。近藤先生は大変な勉強家であり、また努力家でもあります。部活の生徒たちが帰宅した後も、毎日のように夜遅くまで仕事をし、教材の作成や学級だよりの執筆、また、学校図書館の経営やPTAの広報活動に取り組んでおられました。昨年、11月にはご結婚され、私生活においても新たな第一歩を踏み出されました。この度の異動で南魚沼市の五十沢中学校にご転出になりました。3年間、ありがとうございました。

小林文子先生

小林先生は、教育補助員として2年間、神納中学校にお勤めいただきました。その間、各教科の先生方とのチームティーチングや一人一人の生徒への個別指導で、神納中学校の生徒たちの学力向上に貢献していただきました。小林先生はもともと美術がご専門ですが、オーストラリアでの1年間の留学経験などを生かして、郷育会議、特別支援教育、教育相談活動等、多方面でご自分の力を発揮していただきました。神納中学校には無くてはならない先生であります。この度の異動で荒川中学校へ転出されることになりました。彼の地でもご活躍されることを心からご期待申し上げます。

小池智美先生

小池先生は、神納中学校で1年間、3組の介助員としてお勤めいただきました。生徒の気持ちを大切にしながらも、よいことは進んで行き、悪いことはけっしてしない、という私たちが生活していく上でもっとも大切で基本的なことを、分かりやすく教えてくださいました。今自分の目の前にいる生徒には「言葉で教え、体で教え、そして心で教える」ことの大切さを、神納中学校で一番良くご存知だったのは小池先生ではなかったのかと思っています。昨年、めでたくご結婚され、現在、小池先生のお腹の中には赤ちゃんがすくすくと育っています。この度、9月に予定

されているご出産とその後の子育てのため、たいへん残念ではありますが、ご退職され、一時期、教育の現場を離れられます。職員一同、元気でかわいい赤ちゃんの誕生を心から願っております。

川崎あけみさん

川崎さんは神納中学校に調理員として、約7年間毎日、私たちの給食を作ってくださいました。この度の異動で旧朝日村にある共同調理場へ転出されることになりました。川崎さんによりますと、神林地区の外へ出る異動は今回が初めてということで、これまで約30年間に渡って、砂山小、平林小、平林中、神納中と、主として神林地区の児童生徒のために給食を作ってくださいました。皆さんと直接授業や学校行事で接する機会は少なかったかもしれませんが、実は学校の給食調理室で私たちのためにおいしい給食を作ってくれていたのです。川崎さんは大変明るく、何事にも熱心で、また、自分の思いをストレートに表現することがたいへんお上手です。今度お勤めになることになった朝日の共同調理場は一度に3つの学校のために給食を作る施設設備を備えています。本当に長い間、ありがとうございました。

今田妙子先生

今日、ご都合で学校にはお見えになっておられませんが、美術の今田先生もご家庭の都合で、今年度限りで、誠に残念ではありますが、ご退職されることになっております。今田先生は斬新で魅力的な授業で、生徒たちの美術的な才能をよく引き出してくださいました。今田先生の教師としての魅力は、皆さんが一番良く知っているのではないかと思います。この度は、諸事情により、ご退職ということになりました。

神納中学校にとって大切な先生方が、こうして学校を去って行かれることは、たいへん寂しく、また、名残惜しいですが、各先生方の今後の益々のご発展とご健勝を思うとき、これもやむを得ないことかと諦めざるを得ません。どうか、先生方、神納中学校での様々な思い出を胸に秘めて、次の新天地、あるいは次の新しい生活へ向けて、幸せな第一歩を踏み出していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

生徒会総務による義捐金の募金活動 (第1回募金活動3/25~3/31/第2回募金活動4/12~4/15)

3月25日、離任式が終わった後で、生徒会長の佐久間航輝さんから全校生徒に東日本大震災で被災された方々を支援するための義捐金の募金に関するお話がありました。

当校では当地区の教育委員会の要請を受け、学区内に設立された避難所(神林農村改善センター)を少しでも明るく快適な場所にするために学校にある若干の花々を寄贈させていただきました。このたびの義捐金の募金は生徒会役員を中心とした生徒による支援活動になります。

また、避難してこられた方々のお子様の中には、中学生また来年度新一年生として中学校に入学予定の児童生徒さんもいるという話を聞いております。臨時的に当校での学習を希望している方々のご要望にお応えするために、受け入れのための準備を致します。

一刻も早く、被災された方々が通常の生活を取り戻すことができるよう心から願うと共に、学校として必要な支援を実施していきます。

《生徒会長 佐久間さんのお話》

3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生しました。東北地方に大きな被害をもたらし、9千人以上の方々がお亡くなりになり、今も尚、一万人以上の方々の行方が分からなくなっています。私は、このような大地震がこの日本に起こったことにたいへん驚き、大きな悲しみを受けました。

被災された方々の中には、お年寄りや、私たちと同じ中学生、小学生の皆さんがたくさんいらっしゃいます。それなのに私は被災された方々のために何もすることができなかった自分自身が情けなくて仕方ありませんでした。恐らく全校の皆さんも同じ気持ちであったと思います。

今、私たちに何ができるのでしょうか。こまめに電気を消して節電に努める。無駄な電話やメールをしない。必要のないものは買わないなどいろいろなことができます。ニュースなどを見ると様々な所で募金活動をしているのを知って、私たちでもできるのではないかと思います。生徒会で募金活動をすることにいたしました。

被災された方々を思う気持ちが大切だと思うので、金額は問いません。いくらでもかまいませんので、一人一人の小さな親切をお願いします。全校生徒が協力すれば大きな力になります。是

非、みんなのできることから始めませんか。募金の場所は生徒玄関で行います。第1回目の実施日は3月25日から31日までの5日間です。全校の皆さんのご協力をお願いいたします。

転入の先生方の自己紹介

4月6日

〈神田佳子先生：阿賀野市立水原中学校から〉



はじめまして。阿賀野市立水原中学校からまいりました神田佳子です。神納中学校に初めて訪れた日、玄関で気持ちよく挨拶をしてくれた生徒の皆さんから元気もらいました。豊かな自然の中で恵まれた環境のもと、勤務できることを大変嬉しく思っています。

私は、新潟市の亀田出身ですが、現在は聖籠町に住んでいます。中学・高校の頃は、吹奏楽部に入っていました。音楽が好きで、毎時間の授業を楽しみにしていたのを今でもよく覚えています。

これから、神納中学校の皆さんと授業や部活動を通して、音楽の楽しさや素晴らしさを一緒に共感したいと思っています。神納中学校の生活に一日も早く慣れ、皆さんと仲良くなりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

〈玉木歩美先生：上越市立吉川中学校から〉



この度の異動で、上越市の吉川中学校から転勤してきました。玉木歩美と申します。新採用として神納中学校でお世話になります。担当教科は国語、部活動は卓球部の副顧問、1年2組の学級担任です。

教員生活もまだ2年目に入ったばかりで至らない点も多く、ご迷惑をかけてしまうこともあるかと思えます。また、新しい学校生活に期待する反面、不安も一杯です。しかし、少しでも早く学校に慣れ、生徒とたくさん係わりたいです。そしていろいろなことにチャレンジし、生徒と一緒に成長していきたいと考えています。

これからよろしくお願いいたします。

*このほか、講師として美術科の神林典子先生、介助員として木村泰子先生、調理員として関根美鈴さんがおられます。正式に着任次第、学校だよりで紹介いたしますのでご了承ください。

バレーボール部クロッカス杯優勝【2月26日（土）】

バスケットボールきらら杯優勝【2月27日（日）】

この日、荒川地区総合体育館でバレーボール部クロッカス杯の大会が行われました。2年生5名、1年生3名の選手たちが活躍し、見事に優勝を果たしました。おめでとうございます。たとえ少人数の部活でも熱心に練習に取り組めば優勝できるという証です。これから春の大会へ向けて、自らの健康に留意しながら、精一杯頑張ってください。

さて優勝はバレーボール部ではありません。バスケットボール部も優勝しました。地元のパルパーク神林で、バスケットボールきらら杯が行われました。今大会においても1・2年生の新人チームが優勝を獲得しました。すばらしい快挙であると思います。学校での生活面や学習面で、いろいろとプレッシャーの少なくない中、毎日、厳しい練習に耐え、よく頑張ってくれました。

選手たちの引率や応援等で、ご協力いただきました保護者の皆様に対し、心から感謝申し上げます。
(文責：村上市立神納中学校長 浪花 健一)